

鈴鹿市（鈴鹿亀山地区広域連合）

1) 人口

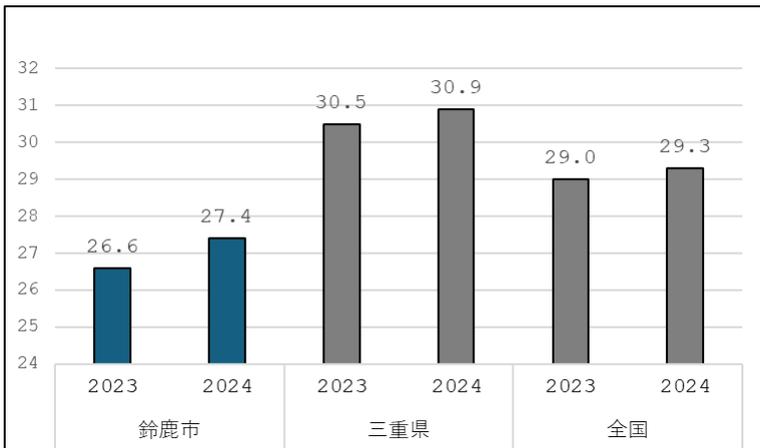
表1. 人口

	年	総人口	高齢化率 (%)	高齢者数	前期割合 (%)	後期割合 (%)	第1号被保険者数*
鈴鹿市	2023	191,024	26.6	50,904	45.0	55.0	—
	2024	189,471	27.4	51,884	43.4	56.6	—
鈴鹿亀山地区広域連合	2023	240,580	26.7	64,345	45.1	54.9	63,980
	2024	238,934	27.4	65,547	43.5	56.5	64,295
三重県	2023	1,729,981	30.5	527,893	43.4	56.6	530,560
	2024	1,716,519	30.9	529,839	42.1	57.9	530,737
全国	2023	—	29.0	36,051,271	43.9	56.1	35,845,134
	2024	—	29.3	36,290,413	42.4	57.6	35,889,733

(時点) 令和5.6年(2023.2024年)

(出典) 総務省「国勢調査」および国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

第1号被保険者：厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報



総人口は、2023年と比較して低い。

高齢化率は、2023年と比較して高い。また三重県・全国として低い。

前期後期割合は後期が高い。

図1. 高齢化率



図2. 高齢化率の前期後期割合

2) 高齢者人口

表2. 高齢者人口

	年	人口(人)						合計
		65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳以上	
鈴鹿市	2023	10,883	12,047	11,700	8,236	4,931	3,108	50,904
	2024	10,789	11,722	12,229	8,739	5,139	3,265	51,884
三重県	2023	109,219	120,103	115,160	85,404	57,706	40,301	527,893
	2024	106,810	116,078	119,057	87,491	58,465	41,938	529,839
全国	2023	7,544,526	8,280,397	7,824,003	5,750,397	3,904,492	2,747,456	36,051,271
	2024	7,367,128	8,035,929	8,122,510	5,902,035	3,982,929	2,879,882	36,290,413

(時点) 令和5.6年(2023.2024年)

(出典) 総務省「国勢調査」および国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

高齢者人口は、2023年と比較してやや高い。年齢別では、2024年は75-79歳、2023年は70-74歳が最も高く、三重県・全国と同様の分布である。

3) 高齢者1人あたり現役世代数

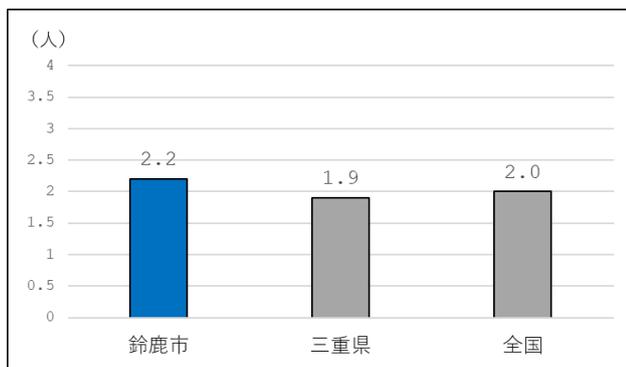
表3. 高齢者1人あたり現役世代数

		鈴鹿市	三重県	全国
15~64歳人口	(人)	112,418	989,286	73,029,662
高齢者1人あたり現役世代数	(人)	2.2	1.9	2.0
65歳以上人口	(人)	50,904	527,893	36,051,271

(時点) 令和5年(2023年)

(出典) 総務省「国勢調査」および国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

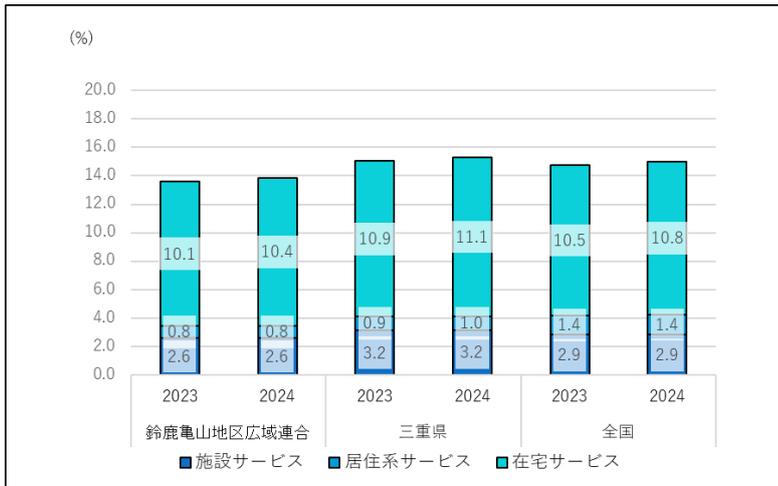
※国勢調査が出典のため2023年データのみ



高齢者1人あたり現役世代数は三重県・全国より高い。

図3. 高齢者1人あたり現役世代数

4) 介護費用額・給付金の状況



サービス受給率は、2023年と比較して高く、割合は在宅サービスが最も高い。

三重県・全国と比較して受給率は低い。

図4. サービス受給率

(時点) 令和5.6年(2023.2024年)

(出典) 見える化・時系列 (各年度年報,R5はR6/2サービス提供月まで,R6はR7/2サービス提供月まで)

5) 受給者1人あたり利用日数・回数

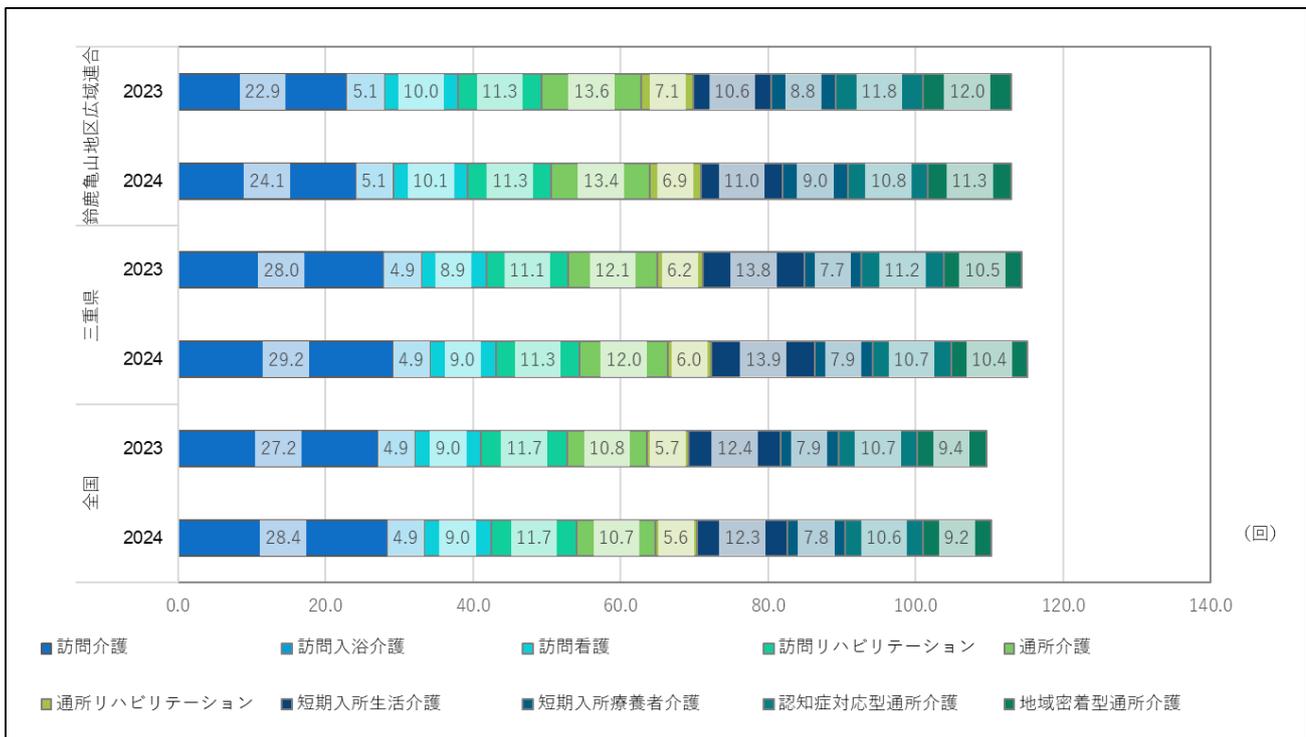


図5. 受給者1人あたり利用日数・回数

(時点) 令和5.6年(2023.2024年)

(出典) 見える化・時系列 (比較地域と比較)

6) 受給者1人あたり給付月額

表4. 受給者1人あたり給付月額

	鈴鹿亀山地区広域連合	三重県	全国
訪問介護	65,696.0	79,317.1	82,954.4
訪問入浴介護	63,134.0	62,364.1	64,164.8
訪問看護	43,476.5	40,101.0	41,722.5
訪問リハビリテーション	32,158.2	32,951.8	34,488.5
居宅療養管理指導	9,744.4	9,506.0	13,139.8
通所介護	107,259.0	93,370.6	84,441.0
通所リハビリテーション	73,064.5	60,807.9	58,754.8
短期入所生活介護	99,536.4	118,597.1	107,731.7
短期入所療養介護	106,181.6	91,051.4	91,585.2
福祉用具貸与	11,375.3	11,396.7	12,212.0
特定施設入居者生活介護	196,944.5	187,860.3	190,209.2
介護予防支援・居宅介護支援	12,885.9	13,375.3	13,292.4
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	165,630.2	154,378.8	168,005.1
夜間対応型訪問介護	-	20,689.7	41,013.8
認知症対応型通所介護	110,895.9	107,273.5	119,285.6
小規模多機能型居宅介護	183,824.6	193,145.9	197,918.9
認知症対応型共同生活介護	273,258.6	267,600.4	269,967.9
地域密着型特定施設入居者生活介護	201,687.3	210,990.5	204,759.2
看護小規模多機能型居宅介護	236,996.3	225,952.6	270,931.0
地域密着型通所介護	90,789.7	82,701.9	74,158.0

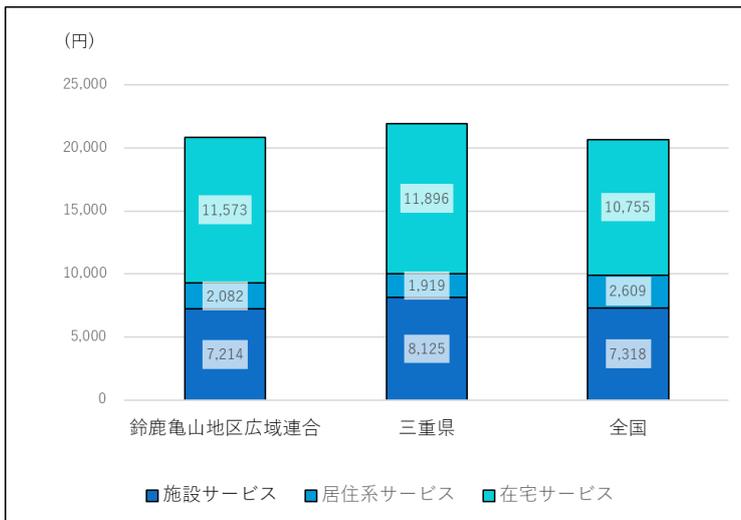
(時点) 令和6年(2024年)

(出典) 見える化・時系列(比較地域と比較)

受給者1人あたりサービス利用日数・回数は三重県と比較して同様に、全国と比較して高い。サービス利用回数は訪問介護が最も高く、費用は看護小規模多機能型居宅介護が最も高い。2023年と比較すると、訪問介護の利用回数・利用日数は高く、認知症対応型共同生活介護は低い。

リハビリテーションは、回数は訪問と比較して通所が低く、費用は訪問と比較して通所が高い。また、三重県と比較して、費用は同様にあり、全国と比較して通所の費用がやや低く、訪問は低い。

7) 調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額



調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額は、在宅サービスが最も高く、三重県・全国と比較して同様である。総額は、三重県より低く、全国と同様である。

図6. 調整済み第1号被保険者1人あたり給付月額

(時点) 令和5年(2023年)

(出典) 「介護保険総合データベース」および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

8) 認定率

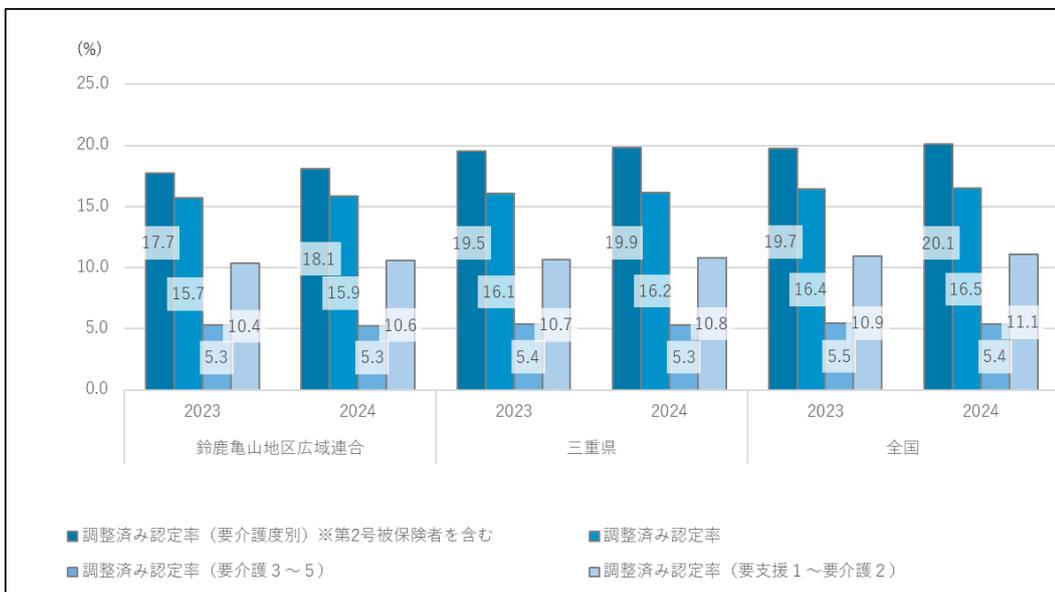


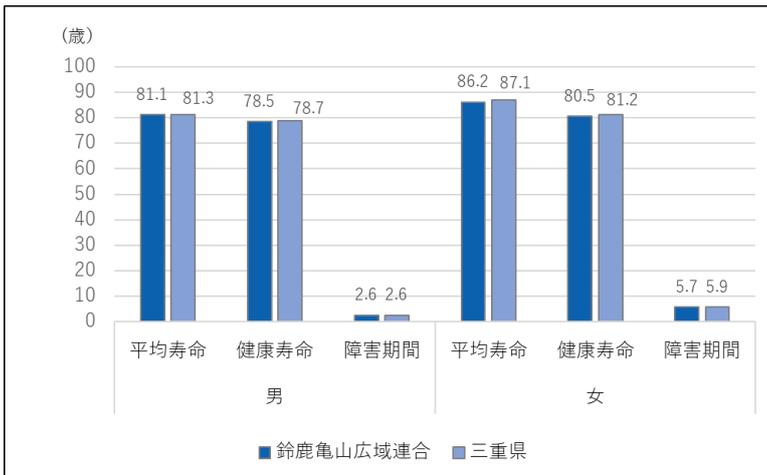
図7. 認定率

(時点) 令和5.6年(2023.2024年)

(出典) 見える化・時系列(比較地域と比較)

認定率は2023年と比較しほぼ変化がない。介護度別の認定率は2023年、2024年ともに要支援1～要介護2が高い。また、三重県・全国と比較して低い。

9) 健康寿命



平均寿命・健康寿命期間は三重県と比較して男はやや低く、女は平均寿命が高く、健康寿命は低い。障害期間は男女とも低い。

図 8. 健康寿命

(時点) 令和6年(2024年)

(出典) 令和6年度版「みえの健康指標」

10) 多職種連携・退院支援

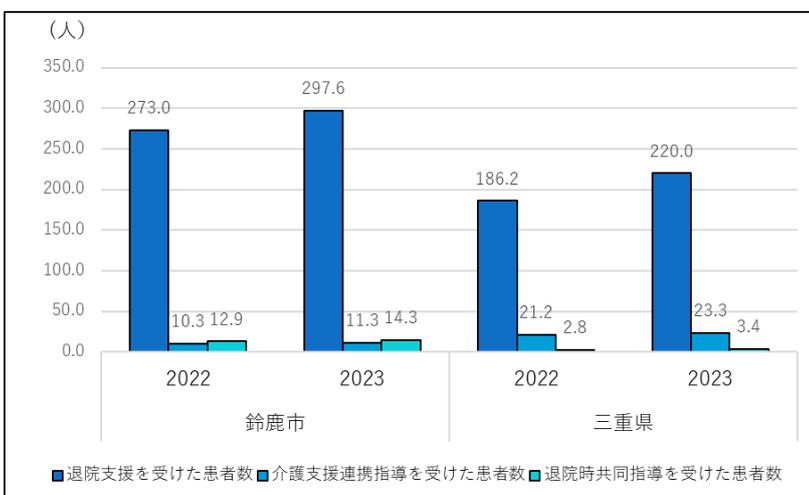
表 4. 多職種連携・退院支援

(人)

	鈴鹿市		三重県	
	2022	2023	2022	2023
退院支援を受けた患者数	5,572	6,347	54,248	66,434
介護支援連携指導を受けた患者数	211	240	6,188	7,035
退院時共同指導を受けた患者数	264	305	809	1,033

(時点) 令和4.5年(2022.2023年)

(出典) NDB



退院支援を受けた患者数、介護支援連携指導を受けた患者数は2022年と比較して、2023年が高い。三重県と比較して全ての患者数が高い。

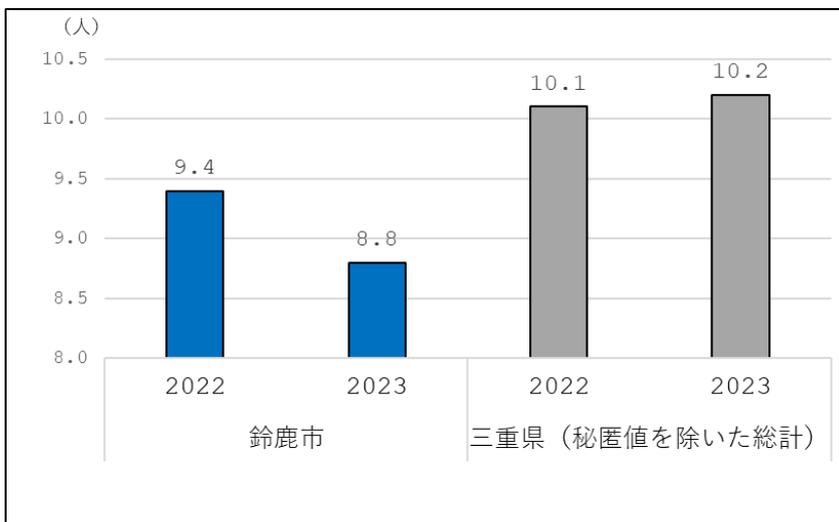
図 9. 後期高齢者 1000 人あたり多職種連携・退院支援

1 1) 在宅ターミナルを受けた患者

表 5. 在宅ターミナルを受けた患者	年	在宅ターミナルケア	後期高齢者利用率
		(件)	(1000 人あたり)
鈴鹿市	2022	228	11.2
	2023	265	12.4
三重県 (秘匿値を除いた総計)	2022	2,943	10.1
	2023	3,081	10.2

(時点) 令和 4.5 年(2022.2023 年)

(出典) NDB



在宅ターミナルケアを受けた患者件数は 2022 年と比較して、2023 年は低い。また、三重県と比較して低い。

図 10. 後期高齢者 1000 人あたり在宅ターミナルケアを受けた件数

(時点) 令和 4.5 年(2022.2023 年)

(出典) NDB

1 2) 訪問診療、往診、訪問看護回数、看取り数

表 6. 訪問診療、往診、訪問看護回数、看取り数

	鈴鹿市				三重県（秘匿値を除いた総計）			
	2022		2023		2022		2023	
	件	利用率 (/1000)	件	利用率 (/1000)	件	利用率 (/1000)	件	利用率 (/1000)
訪問診療	10,180	498.8	9,288	435.5	137,846	473.2	146,495	485.1
往診	1,693	83.0	1,603	75.2	26,920	92.4	27,376	90.7
訪問看護利用者数	10,180	498.8	9,288	435.5	65,328	224.2	71,893	238.1
看取り数 (死亡診断書のみ の場合も含む)	1,693	83.0	1,603	75.2	4,718	16.2	4,716	15.6

(時点) 令和4.5年(2022.2023年)

(出典) 訪問診療・往診・看取り数：NDB、訪問看護利用者数：訪問看護レセプト

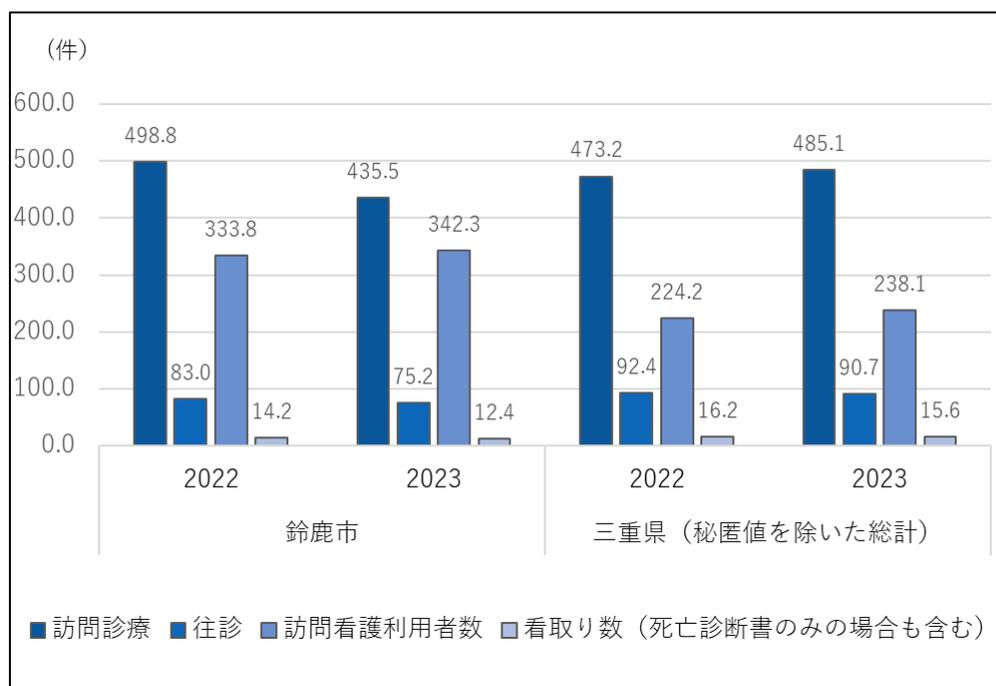


図 11. 訪問診療・往診・看取り数・訪問看護利用者数

2022年と比較して、2023年は訪問診療、往診、看取り数が低く、訪問看護利用者数が高い。また、三重県と比較すると訪問診療、訪問看護利用者数が高く、往診、看取り数が低い。

1.3) 在宅死亡者数

表 7. 在宅死亡者数

	鈴鹿市		三重県	
	2022	2023	2022	2023
自宅	285	311	3,927	4,028
老人ホーム	178	201	3,084	3,123
介護老人保健施設	123	135	1,221	1,297
介護医療院（再掲）	11	14	116	126

(時点) 令和4.5年(2022.2023年)

(出典) NDB

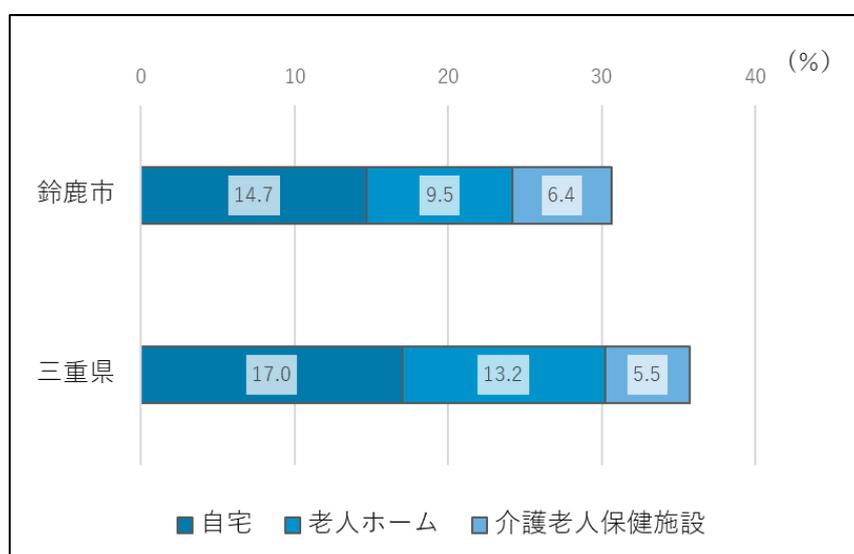


図 12. 在宅死亡者百分率

(時点) 令和5年(2023年)

(出典) NDB

在宅死亡者数は三重県と比較して低い。在宅死亡者率は自宅が最も高い。

まとめ

高齢化率は上昇しており、後期高齢者の割合も高い。高齢者1人あたりの現役世代数は県平均より高く、支え手の多さがうかがえる。介護サービスの受給率は三重県・全国より低い。在宅サービスの利用割合は高く、生活支援の体制は一定程度整っている。サービスの利用回数は訪問介護が多く、給付額では看護小規模多機能型居宅介護が高い水準にある。退院支援を受けた患者数は増加傾向にあり、医療と介護の連携が進みつつある。訪問診療・看護の実施もみられ、在宅療養の支援体制が構築されている。共同指導や支援連携指導は秘匿値のため傾向は不明であるが、今後の連携強化に期待が持たれる。